

# 広報 ふじかわ

9月号

昭和49年9月20日発行

No. 166

## 町のメモ

49年9月1日現在

人口	16,204人
増減	先月より +157人
男	7,990人
女	8,214人
世帯数	3,836世帯
面積	31.09km <sup>2</sup>

富士川町 企画課



## どこまで ころがるのかな？ どうして ころがるのかな？

### — 町立第二幼稚園の園児 —

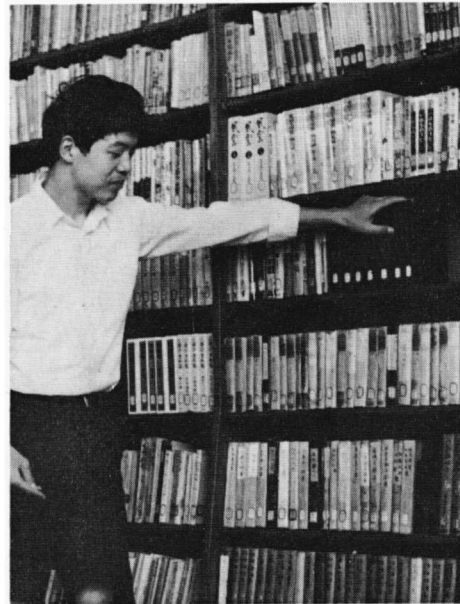
幼児期の教育をより充実したものにするために……

現在、町立第二幼稚園（望月富子園長）が文部省の研究指定校に選ばれ「幼稚園における教育課程および指導の方法等について調査研究を行ない、もって幼稚園教育の改善、充実を行なう」ことを目的として先生と幼児が共に研究を重ねている。

この研究指定校は、公立の小規模幼稚園を対象として、各県一園を選び、文部省、県教育委員会及び町教育委員会が主催者となり、四十八年度から二カ年度にわたって研究を行なっているもの。指導には県教委、中部教育事務所、学校指導課の望月光子先生があたり続けている。

九月五日、第二幼稚園で、研究推進委員会が開かれ、清水、庵原地区の先生たち十九人が参加しました。当日は「うぐいす組」（望月君子先生）四才児を対象として「自然」をテーマとした中の「数量」について研究を行ないました。この時間は、「ころがしあそびをとおして、遠い近いに気づく」ことをねらいとしたもので幼児にあそびをとおして数、量について身近な空カンなどを使い、対象を観察し、科学する力を芽ばえさせ、将来の数生活に対応するための基礎づくりをする学習でした。

# 読書の秋に 図書館を利用しましょう



図書館で本を整理する植松さん

一般に読書の秋といわれる季節になってきました。そこで町立図書館(田村重雄館長)の施設や利用の現況を紹介します。

昭和二十七年に図書館が開館したころは、もちろん、現在でも一町が独立した施設として、図書館をもっていることはめずらしいことです。開設当時から、公民館(旧一中講堂)、第一中学校などと町の文化形成と発展に大きな役割を果たしてきました。

しかし、時代の移りかわりは、モーターゼーションとテレビ万能社会を現出させて、図書館に必要な静けさや娯楽性などを、少なからずうばってしまいました。けれども、必要性や関心を別にして、現に図書館がある以上、多くの本が住民のみならずにも利用して

頂くことを待ち望んでいます。昭和四十八年度の図書館の利用者は、総数で約五千二百人、開館日の一日当たり平均利用者は十八人しかいませんでした。

目だつことは、一般の利用者が他に比べて低調なこと。また月別では、四、五、六月に平均五百人の来館者があったのに、読書の秋には逆に平均三百五十人から四百五十人に落込んだことです。

しかしながら、これらの少数の利用者は、読書、研究、学習の場として、有効的な時間の活用をしているようです。利用者の一人は「思いがけなく自分の知りたかつた事をみつけた時がもっとも楽しく思う」と語っています。

前年の教育委員会による社会教育に関するアンケート調査でも、

## 利用人員状況

総数	5,200人	100%
性別	男 2,900 女 2,300	55.8 44.2
年代別	小 3,950 高 750 一 500	76.0 14.4 9.6
利用別	館貸 4,250 内出 950	81.7 18.3

時間があればほとんどの人が勉強したいと考えていることから、まだまだ図書館の果しうる役目があると思われまふ。

このような状況から、図書館では、住民に対するPRと広範な意見のすい上げが必要であると見えています。そのための手はじめとして、図書館利用者がどのような意見や希望を持ったかを知るために、「利用者の声」という箱を作りました。施設の問題点や購入希望の本などについて、どしどし書き入れて下さい。

図書が氾濫が呼ばれている折から、図書館でなくてはといわれるような、特徴のあるものを揃え、一般的なものに合わせて内容の充実を計っていますが、二十万円という予算では、なかなか思うにまかせないのが現実です。

図書館は利用されなくては存在価値がありません。今後図書館では積極的な活動を通して、多くの住民のかたに利用され、みなさんの意見により図書館がまちの中に生かされるよう努力していく考えです。

開館時間 日曜日 十時～十七時  
平日 十二時～  
休館日 毎月曜日 祭日 十九時  
蔵書冊数 九千冊  
蔵書の一部紹介 (月末日(整理日))

(百科事典 辞書)  
広文庫、ブリタニカ国際百科事典、ライフ・ネイチャー、ライブラリー、こどもの百科事典、日本文学大辞典、動物の世界大百科、くらしの新百科。

(歴史)  
日本の歴史、大平洋戦争への道、近世日本国民史、明治初期・静岡県史料、甲陽軍鑑、県史シリーズ

(文学)  
日本古典文学大系、現代日本文学アルバム、俳句講座、啄木全集

(科学)  
農業技術大系、科学史大系、材国土現勢誌。

(美術、その他)  
グランド世界美術、原色版、国宝、現在登山全集、日本の伝説、現代の書道。

## 町民体育大会10月6日に みんなで楽しく参加しよう

第十八回富士川町町民体育大会は、十月六日の日曜日に第一中学校グラウンドでおこなわれます。

(雨天の場合は中止)  
この大会は全町民が積極的に参加して、スポーツを楽しみ、明日への健康の糧とするともに、社会体育の推進を目的として、毎年行なわれています。

体育協会(会長、尾崎初男)では、九月六日に各区の関係者に対し、実施要項の説明をして協力をお願いしました。

参加資格は次のとおりです。

- ①町に居住する者及び、町民である者。(該当区に居住する者、高、大学生の出場可)
  - ②町内の官公署・事業所に勤務する者。(事業所対抗、各種団体対抗について可)
- 当日は午前八時に開会式、八時四十分から競技が開始され、終了予定は午後三時となっています。
- 競技種目は、区対抗団体種目、区対抗レクリエーション種目、陸上競技種目、その他合計三十二種目がプログラムされています。

このうち区対抗団体種目である年齢別リレー、六三三リレー、婦人順送球、つなひき、百足リレー、家族リレー、親子二人三脚リレーの合計得点が最高の区に総合優勝杯(町長杯)が与えられるほか、各種の表彰が用意されています。

区別は、北松野、南松野、木島相生町、上町、舟山町、坂下、旭町、川坂・堺町、新町、新町四十九、宮町、小池、本通一・三・四幸町、東町一・二・日の出町で、本通りが一区にまとまったので、昨年より一チーム少ない十五区で競われることになりました。

参加申込みの締切りは、九月二十八日(土曜日)正午まで、組合せ抽選会は、同日午後七時より老人福祉センターで、各区申込み責任者によって行なわれます。

## 事故はいや!!

「歩行者、自転車の事故防止、とくに、子どもと老人を交通事故から守ること」を目標に秋の全国交通安全運動が、九月二十一から三十日までの十日間行なわれます。

蒲原警察署管内の交通事故死亡者三人は、昨年より六人減少していますが、内訳は県道富士川富沢線で二人、町道で一人と全部富士川町で発生したものです。

同県道では四十キロ制限などの交通規制を守って運転していただくと同時に、歩行者も道路を横断するときは十分気をつけて、犠牲者がこれ以上増えないようにしましょう。



電話の移転は早めに  
電話局は、申込順にあらかじめ電話の移転工事を予約受付をしています。同じ建物内の移転の場合は二週間以内に、引越などの場所への移転の場合には四週間以前に申し込んでください。

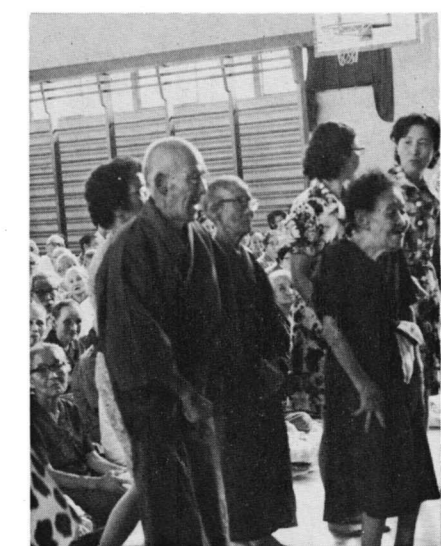
なお、工事は火、金曜日をあてています。  
(富士川電報電話局)

## 敬老会

町内の七十歳以上の老人のみなさんに一日を楽しく過ごしていただくこと、町主催による第四十三回敬老会が、第一小学校の体育館で九月六日に開催されました。

九十三歳の最高齢者、望月ふくさん(相生町)をはじめ、七百九十七人の招待者のうち、四百九十余人の参加者がありました。

式典は中川町長のお祝いのこと



中央が当町最高齢者の 望月ふくさん(93歳)

## 体温計の無料検査

十月十三日から十九日までの「薬と健康の週間」にちなんで体温計の精度検査を行ないます。これは県計量検定所の指導を受けて各薬局、薬店で受けつけます。体温計は厳しい検査を受けてありますが、長い間使用すると、多少のくろいが生ずることがあります。健康管理のパロメーターとしての体温計を正確にしておくために、ぜひこの機会をご利用下さい。



# 戸籍の窓

49・7・20～8・19 (敬称略)

## おめでた

区名	出生児	保護者	続柄
上町	高橋 美紀	敏雄	二女
坂下	仲澤 理	義則	二男
旭町	増田八千代	時光	長女
堺町	中西 洋文	忠次	長男
川坂	田中えつこ	秀穂	二女
四十九	川越 千絵	豊	長女
宮町	小林奈緒美	達弘	二女
	行部澤由果	勵	長女

## よろこび

宮町	千田 光枝	昌由	二女
〃	松尾 英二	秀一	二男
〃	平野 元	忠夫	長男
幸町	三浦 正教	忠則	〃
〃	安城千佳子	浩	長女
小池	藤谷 裕紀	勝紀	〃
〃	加藤 祐介	公威	二男
〃	塩坂 彰敏	光伸	長男
〃	本通四 国保	典子	国夫 長女
〃	東町一 皿田	恵理	進 〃
〃	南町 田中	覚	晶 三男
〃	丸山 偉好	政良	長男
〃	八幡町 深澤	春彦	昇 二男
〃	渡辺 知史	一雄	長男
〃	富士見町 清水	ふで	八二

## かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	植松 すぎ	七六
上町	斉藤 昭三	四六
坂下	斉藤 銀平	七三
新町	若槻 ひで	七八
富士見町	清水 ふで	八二

## おしあわせに

体育館だより  
 ■バトミントン教室(毎週月曜日  
 よる七時)十月より二期生募集  
 ■卓球教室参加者募集。毎週土曜  
 日よる六時三十分、会費三百円  
 ■九月十月スポーツ行事  
 九月二十二日(日)第二小、第一幼  
 九月二十七日(金)第二中体育祭  
 〃二十八日(土)第一中体育祭  
 〃二十九日(日)第一小、第二幼  
 十月六日(日)第十八回町民体育  
 大会

求職求人相談日  
 清水公共職業安定所は十月七日(月曜日)に町商工会館で出張サービス相談を受けつけます。  
 求職求人相談、失業保険の資格取得届、喪失届、離職票の確認(証明書の受付点検)についての相談におかけ下さい。  
 老人福祉センターで  
 幼児教育巡回相談  
 県教育委員会は、十月二十二日午前十時から午後四時まで、老人福祉センターで、幼児教育巡回相談を開きます。該当希望者はお気軽にお申込みください。

## すべての子に生きがいを

### — その五 —

昭和二十二年五月三日に施行された「日本国憲法」は、「主権在民」、「戦争の放棄」、「個人の尊重と公共の福祉」、「人間の平等」、「健康で文化的な生活を営む権利」、「能力に応じて等しく教育を受ける権利」などを認めて私たちの日本は戦争のない平和な国、民主的な国、福祉の国として再出発しました。

どの国でも、過去の歴史を見ると社会福祉に関係したことは、戦争とか天災などの後に飛躍的に発展するものですが、第二次大戦

後の日本もそのとおりでした。敗戦後間もなく、教育基本法や学校教育法、児童福祉法が制定されましたが、昭和二十六年五月五日には、児童憲章が制定されました。そして、「すべての児童は身体が不自由な場合、または精神の機能が不十分な場合に適切な治療と教育と保護が与えられる」という条文も掲げられました。

「ちえおくれの子どもも、同じ人間の子どもとして、個性を育て生きるよろこびを与えていかなければならない」「このことは教育

者としての当然の任務でもある」「そればかりではない。このことは人間の平等、人間の尊重というもつとも大切な人間観を世の中の人たちに教えることにもなる」——明治二十九年、長野小学校に晩熟生学級を作った白井常吉先生や明治四十二年、熊本の上崎小学校に特殊学級を作った荒木善次先生などのこうししたすぐれた考え方が国定として認められ、その制度も着々と整えられつつある現在、なおいわれなき偏見をもっている人が絶無だとはいえません。

ほんらい、子どもの世界には偏見とか差別というものはありません。子どもはだれにたいしても好

意を示し、だれとでもすぐ仲よしになれるものです。それを、子どもたちに偏見とか差別の芽をうえつけていくのは親・教師また社会である場合が少なくないことを残念ながら認めなければなりません。不幸な人たちに愛の手をよびおこすことよりも、心身に障害をもつ人たちが健康な人と同じ人間であり、平等な連帯関係にあることをあたり前のこととして受けとめ、ともに手をたずさえて、そのしあわせを、明るい社会を求めて進んでいきたいものです。

(郡心身障害児教育推進協議会啓発部)

## 善意銀行預託者

(49・5～8)

- 千五百三十九円 一般募金箱
- 千四百二十円 (一円玉)
- 慈林寺仏教婦人会 新町
- 一万三千六百元
- 渡辺 敏定 旭町
- 五千元 水口 大礼 上町
- 二万円 植松 武雄 相生町
- 四万三千元 木島
- 旧富士川分 岩淵
- 酒屋一同 中之郷
- 雑布二百一枚 幸和会 幸町
- 〃 五十枚 福寿会 本通一